

# 2012年度第1四半期 決算説明会

2012年8月2日

三菱商事株式会社

(注)本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を  
保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の  
判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 2012年度第1四半期 決算概要

---

## 2012年度 第1四半期 連結決算(米国基準)

### 損益の状況

(単位:億円)

| 損益の状況          | 2011年度<br>第1四半期<br>(リステート後) | 2012年度  |                 | 2012年度  |     | 前年同期比の増減  |
|----------------|-----------------------------|---------|-----------------|---------|-----|---|
|                |                             | 第1四半期   | 増減              | 通期見通し   | 達成率 |   |
| 売上高            | 48,454                      | 48,046  | ▲ 408           | 210,000 | 23% | <p><b>a.【売上総利益】(▲543)</b><br/>豪州原料炭事業において、販売価格の下落、ストライキによる販売数量の減少などにより、売上総利益は減益となった。</p> <p><b>b.【販売費及び一般管理費】(▲122)</b><br/>事業拡大に伴う費用増などにより、販管費は負担増となった。</p> <p><b>c.【金融収支】(+131)</b><br/>資源関連の受取配当金が増加したことから、金融収支は改善した。</p> <p><b>d.【有価証券損益】(▲29)</b><br/>①上場株式減損(※)<br/>... ▲30 [ ▲4 → ▲34 ]<br/>②不良資産関連損失<br/>... ▲5 [ ▲8 → ▲13 ]<br/>③その他株式売却損益等<br/>... +6 [ +37 → +43 ]<br/>(※)上場関連会社宛投資減損を含む</p> <p><b>e.【その他の損益】(▲64)</b><br/>為替関連損益の悪化などにより、その他の損益は悪化した。</p> <p><b>f.【持分法による投資損益】(+31)</b><br/>海外の資源関連をはじめとする関連会社の業績が堅調に推移したことにより、持分法による投資損益は増加した。</p> <p><b>g.【当社株主に帰属する当期純利益】(▲176)</b><br/>資源関連の受取配当金が増加したものの、豪州原料炭事業における販売価格の下落、販売数量の減少などにより、減益となった。</p> |
| 売上総利益          | 2,934                       | 2,391   | ▲ 543<br>19%の減益 | 12,500  | 19% |   |
| 販売費及び一般管理費     | ▲ 2,083                     | ▲ 2,205 | ▲ 122           | ▲ 9,000 | 25% |   |
| 貸倒引当金繰入額       | ▲ 9                         | ▲ 10    | ▲ 1             | ▲ 100   | 10% |   |
| 営業利益           | 842                         | 176     | ▲ 666<br>79%の減益 | 3,400   | 5%  |   |
| 利息戻金           | ▲ 10                        | ▲ 14    | ▲ 4             | ▲ 200   | 7%  |   |
| 受取配当金          | 337                         | 472     | 135             | 1,250   | 38% |   |
| 有価証券損益         | 25                          | ▲ 4     | ▲ 29            | 450     | 37% |   |
| 固定資産損益         | 0                           | ▲ 10    | ▲ 10            |         |     |   |
| その他の損益         | 246                         | 182     | ▲ 64            |         |     |   |
| 税引前利益          | 1,440                       | 802     | ▲ 638           | 4,900   | 16% |   |
| 法人税等           | ▲ 625                       | ▲ 218   | 407             | ▲ 1,800 | 12% |   |
| 税引後利益          | 815                         | 584     | ▲ 231           | 3,100   | 19% |   |
| 持分法による投資損益     | 429                         | 460     | 31              | 2,200   | 21% |   |
| 非支配持分控除前当期純利益  | 1,244                       | 1,044   | ▲ 200           | 5,300   | 20% |   |
| 非支配持分          | ▲ 87                        | ▲ 63    | 24              | ▲ 300   | 21% |   |
| 当社株主に帰属する当期純利益 | 1,157                       | 981     | ▲ 176<br>15%の減益 | 5,000   | 20% |   |
|                | リステート前:1,150                |         |                 |         |     |   |
| 基礎収益           | 1,607                       | 1,104   | ▲ 503           | 6,750   | 16% |   |

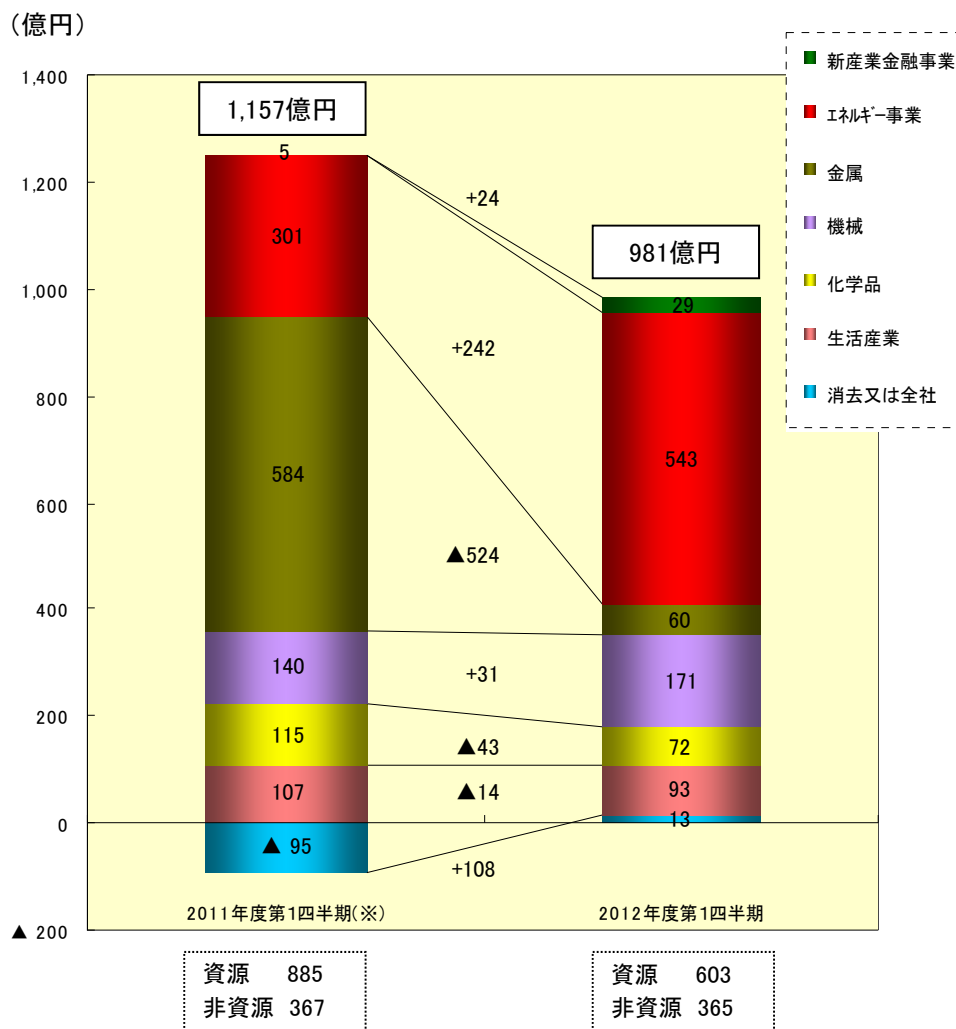
(※1)基礎収益＝営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)＋利息戻金＋受取配当金＋持分法による投資損益

(※2)売上高及び営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。

なお、ASCサブトピック605-45「収益認識-主たる代理人の報酬」に従って収益を表示すると、2011年度第1四半期実績は1兆4,033億円、2012年度第1四半期実績は1兆3,888億円となります。

(※3)株式の追加取得により新たに持分法適用となった会社があるため、2011年度第1四半期実績を溯及的に調整しております。

## セグメント別当期純利益の前年同期比増減



(※) 2012年4月の組織改編に伴い、2011年度第1四半期の数値を新組織ベースにリスタートして表示しております。

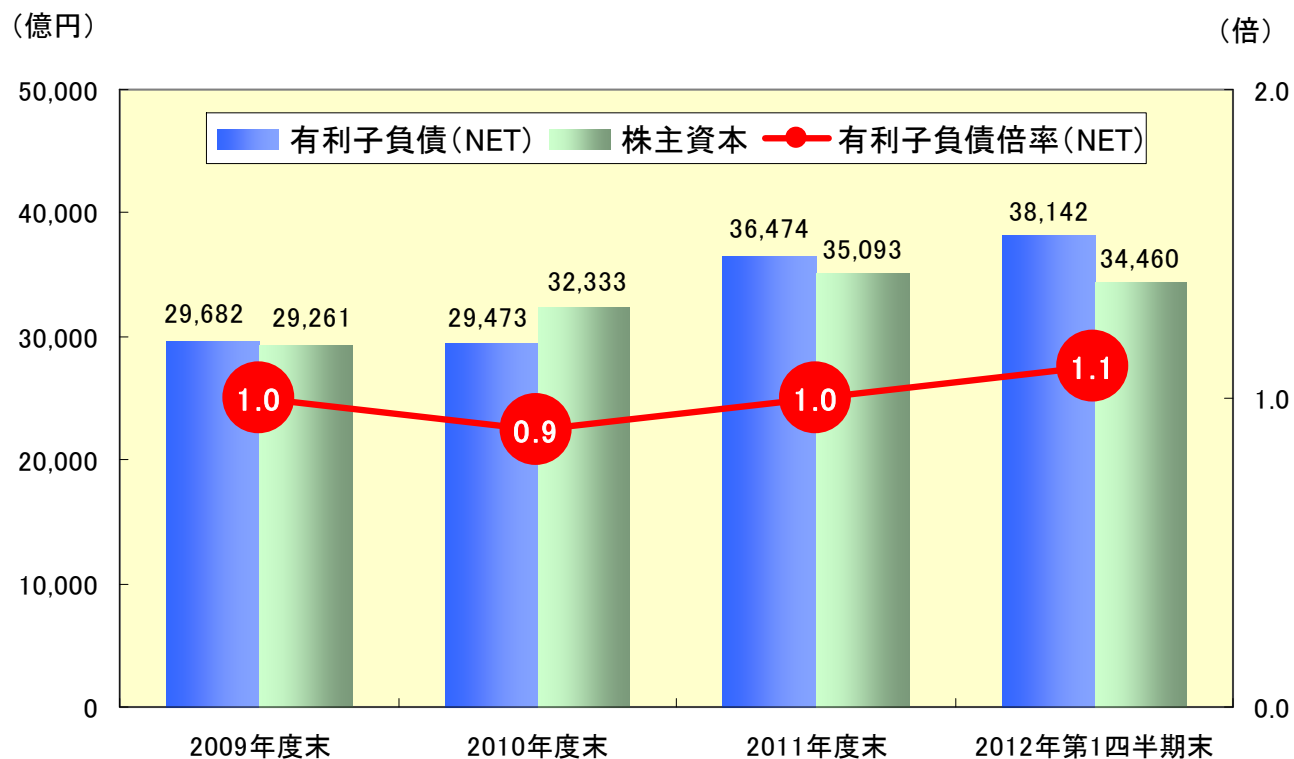
### セグメント別増減理由

- 新産業金融事業(480%増益)**  
リース関連事業、海外不動産事業の収益改善等により増益となったもの
- エネルギー事業(80%増益)**  
海外資源関連投資先からの受取配当金増加や、油価上昇に伴う海外資源関連会社の持分利益増加により増益となったもの
- 金属(90%減益)**  
豪州資源関連子会社(原料炭)における販売価格の下落及びストライキによる販売数量減少や、銅鉱山からの受取配当金減少等により減益となったもの
- 機械(22%増益)**  
アジア自動車関連事業の好調等により増益となったもの
- 化学品(37%減益)**  
前年同期における親会社及び石化事業関連会社での取引好調の反動等により減益となったもの
- 生活産業(13%減益)**  
国内の関連会社における震災関連損失の反動等があったものの、食料関連子会社における取引利益減少等により減益となったもの

### 資源価格の推移

|                 | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 増減     |
|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 油価(ドバイ)(\$/BBL) | 110.7           | 106.4           | ▲4.3   |
| 銅価格(\$/MT)      | 9,152           | 7,867           | ▲1,285 |
| アルミ価格(\$/MT)    | 2,603           | 1,977           | ▲626   |

## 株主資本と有利子負債の推移



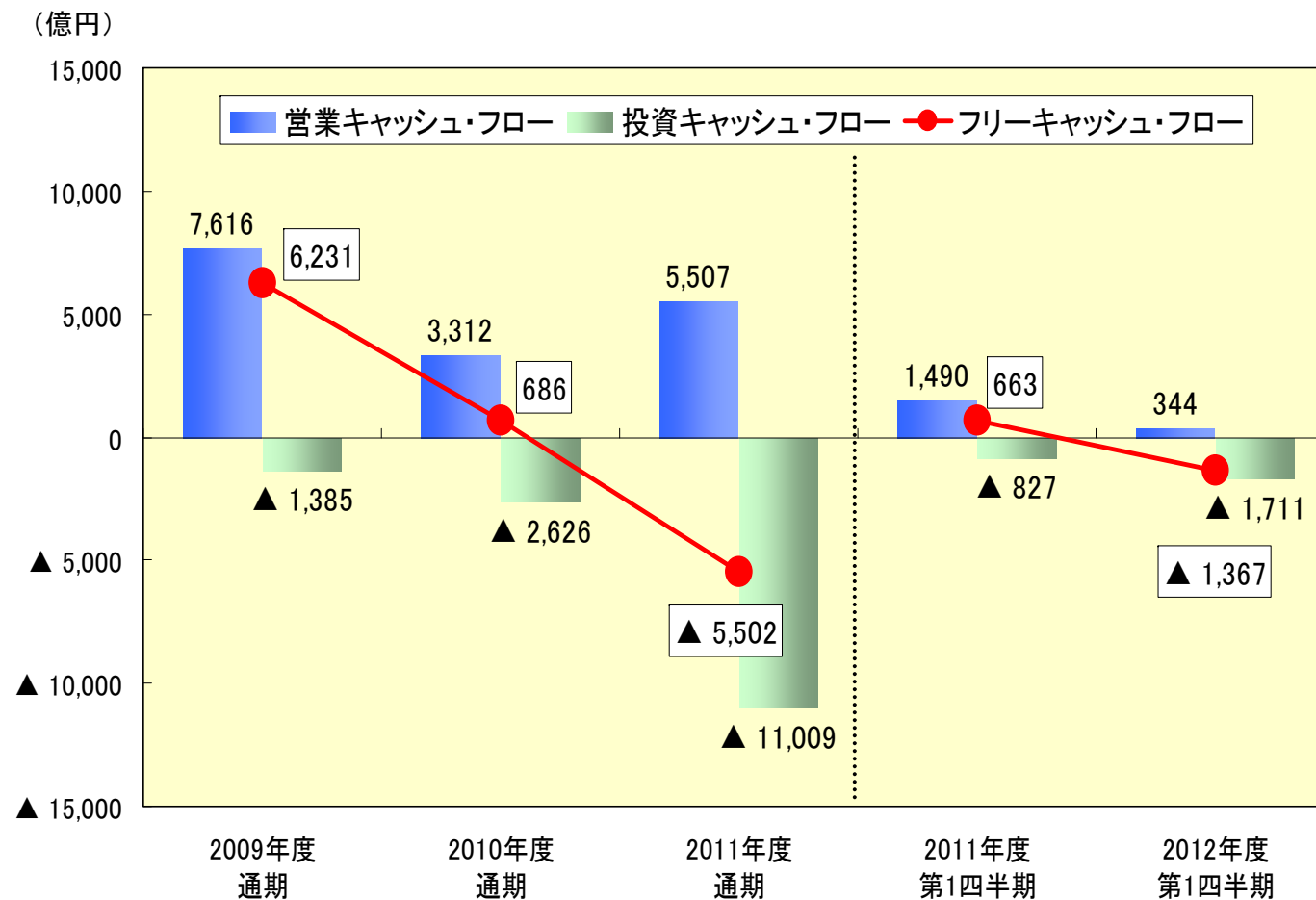
主な株主資本増減要因  
(2011年度末比▲633億円)

- ① 当期純利益の積み上がり (+981億円)
- ② 配当金支払 (▲543億円)
- ③ 未実現有価証券評価益の減少 (▲580億円)
- ④ 為替換算調整勘定の悪化 (▲489億円)

為替換算調整勘定への通貨種類別影響額

| 通貨種類 | 為替換算調整勘定への影響額 (概算: 億円) | 2012年6月末レート | 2012年3月末レート | (参考) 2011年12月末レート |
|------|------------------------|-------------|-------------|-------------------|
| 米ドル  | 50                     | 79.31       | 82.19       | 77.74             |
| 豪ドル  | ▲ 350                  | 79.65       | 85.45       | 79.12             |
| ユーロ  | ▲ 100                  | 98.74       | 109.80      | 100.71            |
| ポンド  | ▲ 50                   | 123.12      | 131.34      | 119.81            |
| パーツ  | ▲ 100                  | 2.49        | 2.67        | 2.45              |

## キャッシュ・フローの状況



### 2012年度第1四半期 キャッシュ・フローの状況

- **営業キャッシュ・フロー**  
一過性の運転資金負担があったものの、子会社での営業収入及び資源関連を中心とした投資先からの配当収入により資金増
- **投資キャッシュ・フロー**  
資源関連子会社における設備投資、航空機や不動産の取得、及び関連会社への投資などにより資金減  
(グロス投資額：約2,100億円)

## 投資の状況

(億円)

| 分野・地域  |                   | 投資金額(計画)<br>(3年間合計)                                  | 2010年度<br>実績      | 2011年度<br>実績 | 2012年度第1四半期<br>実績  |  | 累計     |        |
|--|-------------------|--|-------------------|--------------|--|--|--------|--------|
| 全社<br>戦略<br>地域                                   | 中国<br>インド<br>ブラジル | 約3,000<br><br>1,000<br>~2,000<br><br>6,000<br>~8,000 | -                 | (170)*       |  | (40)*  | (210)* |        |
| 全社<br>戦略<br>分野                                   | インフラ<br>地球環境      |  | 420               | 460          | 北米IPP事業関連  | 30   | 910    |        |
| 金属資源   |                   |  | 10,000<br>~12,000 | 1,650        | 9,300  | シェールガス関連、<br>ドンギスノロLNG、<br>豪州石炭事業関連、<br>カナダPGM事業 | 870    | 11,820 |
| エネルギー資源  |                   |  |                   |              |  |  |        |        |
| 産業金融・鉄鋼製品<br>・炭素原料・船舶<br>・自動車・化学品<br>・リテイル・食料 など |                   |  | 1,630             | 3,600        | 航空機関連リース、<br>不動産事業、<br>船舶保有運航事業、<br>レンタルのニッケン関連、<br>英国食品事業関連 | 1,200  | 6,430  |        |
| 全社合計(グロス)  |                   | 2~2.5兆円  | 3,700             | 1.34兆円       |  | 2,100  | 1.92兆円 |        |

(\*)「全社戦略地域」の金額は、「全社戦略分野」、「金属資源」、「エネルギー資源」、「産業金融・鉄鋼製品・炭素原料・船舶・自動車・化学品・リテイル・食料など」の各項目に含まれる。

## 市況の状況

### 為替・金利・商品市況の状況

|                     | 第1四半期の状況<br>(4-6月平均)<br>(a) | 通期業績見通し<br>の前提(※)<br>(b) | 増減<br>(a)-(b) | 当期純利益に対する損益インパクト  |
|---------------------|-----------------------------|--------------------------|---------------|---|
| 為替(YEN/\$)          | 80.2                        | 80.0                     | 0.2           | 1円円安(高)につき年間27億円の増益(減益)インパクト。   |
| 円金利(%)<br>TIBOR     | 0.34                        | 0.40                     | ▲ 0.06        | 取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。  |
| US\$金利(%)<br>LIBOR  | 0.47                        | 0.70                     | ▲ 0.23        |   |
| 油価(\$/BBL)<br>(ドバイ) | 106.4                       | 120.0                    | ▲ 13.6        | \$1上昇(下落)につき年間10億円の増益(減益)インパクト。<br>但し、油価の変動以外にも、連結会社との決算期の違い、販売価格の油価反映へのタイミング、配当性向、販売数量等の要素からの影響も受けるため、油価のみで単純に決定されるものではない。 |
| 銅地金(\$/MT)          | 7,867                       | 8,400                    | ▲ 533         | \$100上昇(下落)につき年間13億円の増益(減益)インパクト。<br>但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみで単純に決定されるものではない。           |
| アルミ地金(\$/MT)        | 1,977                       | 2,200                    | ▲ 223         | \$100上昇(下落)につき年間10億円の増益(減益)インパクト。<br>但し、アルミの価格変動以外にも、生産・操業状況、電力コスト、為替変動等の要素からの影響を受けるため、アルミの価格のみで単純に決定されるものではない。             |

(※) 2012年5月8日に公表した通期業績見通し(当期純利益5,000億円)の前提

### 株価の影響(上場有価証券減損の状況)

|             | 減損額(税引後) | 期末日経平均株価                       |
|-------------|----------|--------------------------------|
| 第1四半期計上     | ▲16億円    | 9,007円(2012年6月末)               |
| 通期業績見通し織込み額 | ▲100億円   | 日経平均9,000円レベルで発生する減損額を試算の上、織込み |

(注意事項) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

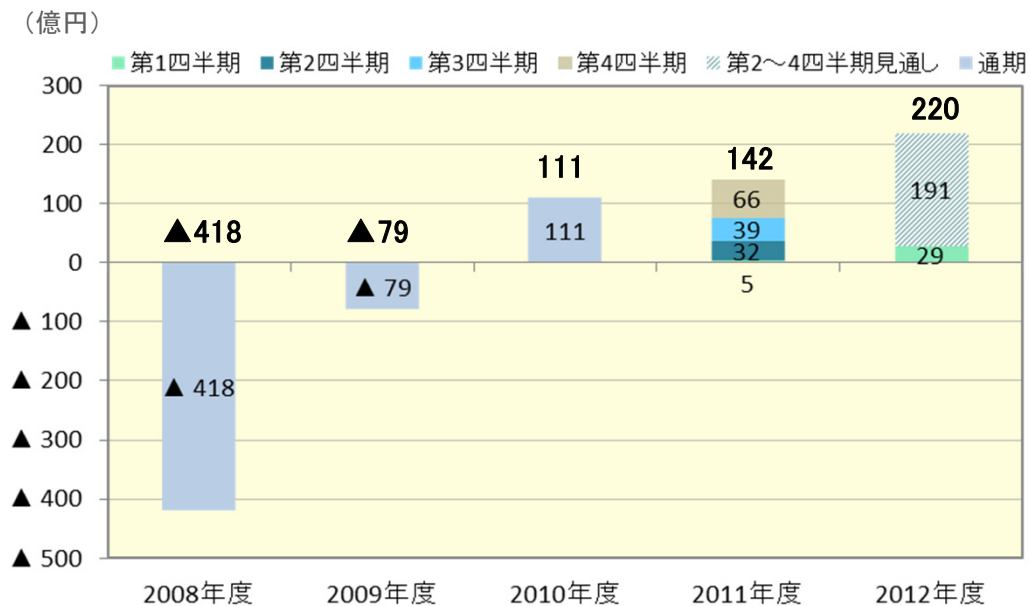


# 補足資料

---

## 新産業金融事業セグメント

### 当期純利益推移



#### <2012年度第1四半期の概況>

- 当第1四半期の当期純利益は29億円となり、前年同期比+24億円の増益となった。
- これは、リース関連事業、海外不動産事業の収益改善等によるもの。

\* 2012年4月1日付組織改編により、物流本部の一部(保険事業)をコーポレートに移管。  
2011年度以前の数値については、新組織ベースにリスタートしている。

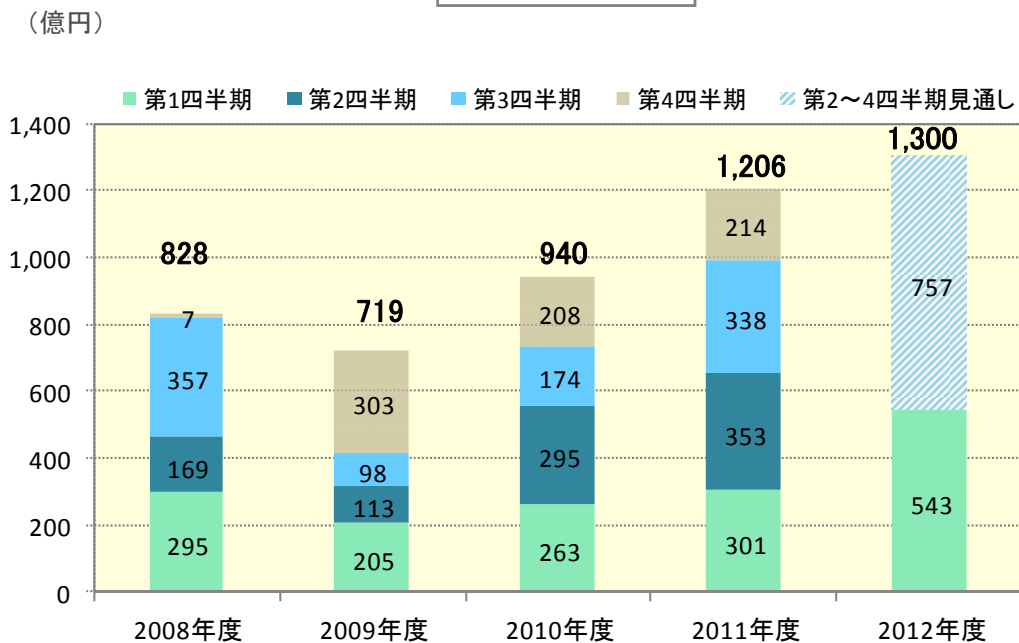
|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 103             | 109             | 550             |
| 営業利益    | 11              | 15              | -               |
| 持分法損益   | 9               | 34              | -               |
| 当期純利益   | 5               | 29              | 220             |
| セグメント資産 | 7,678           | 9,399           | -               |

#### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- 通期見通し220億円に対する第1四半期までの達成率は13%となっている。
- 第2四半期以降に物流関連不動産、及び、航空機リースの事業収入増や資産の入れ替えを見込んでおり、概ね順調な進捗状況となっている。

## エネルギー事業セグメント

当期純利益推移



| ドバイ油価推移 (US\$/BBL) | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月  |
|--------------------|-------|-------|--------|-------|
| 2007年度             | 64.8  | 70.1  | 83.2   | 91.4  |
| 2008年度             | 116.9 | 113.4 | 52.6   | 44.2  |
| 2009年度             | 59.1  | 67.9  | 75.4   | 75.8  |
| 2010年度             | 78.1  | 73.9  | 84.3   | 100.5 |
| 2011年度             | 110.7 | 107.1 | 106.5  | 116.1 |
| 2012年度             | 106.4 | -     | -      | -     |

### <2012年度第1四半期の概況>

- 当第1四半期の当期純利益は543億円となり、前年同期比+242億円の増益となった。
- これは、海外資源関連投資先からの受取配当金増加や、油価上昇に伴う海外資源関連会社の持分利益増加によるもの。

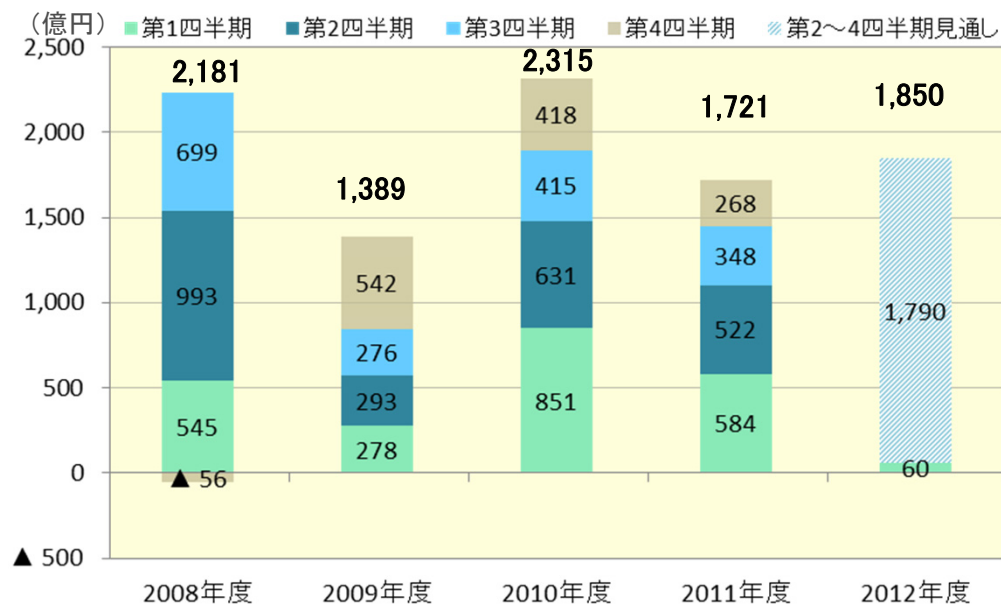
|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 160             | 152             | 620             |
| 営業利益    | 65              | 49              | -               |
| 持分法損益   | 194             | 218             | -               |
| 当期純利益   | 301             | 543             | 1,300           |
| セグメント資産 | 13,402          | 16,027          | -               |

### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- 通期見通し1,300億円に対する第1四半期までの達成率は42%となっている。
- これは、海外資源関連投資先からの受取配当金の増加等により、高い進捗となったもの。

## 金属セグメント

当期純利益推移



\* Coal & Allied社持分連結に伴い、2009年度以前は通期のみリステート(リステートの影響は便宜上第4四半期(3ヶ月)に含める)、2010年度以降は各四半期リステートを行っている。

|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 840             | 328             | 3,270           |
| 営業利益    | 487             | ▲69             | —               |
| 持分法損益   | 69              | 41              | —               |
| 当期純利益   | 584             | 60              | 1,850           |
| セグメント資産 | 29,453          | 34,428          | —               |

### <2012年度第1四半期の概況>

- ▶ 当第1四半期の当期純利益は60億円となり、前年同期比▲524億円の減益となった。
- ▶ これは、豪州資源関連子会社(原料炭)における販売価格の下落及びストライキによる販売数量減少や、銅鉱山からの受取配当金減少等によるもの。
- ▶ 主要連結会社等の状況:増減('11.1Q→'12.1Q)【億円】
 

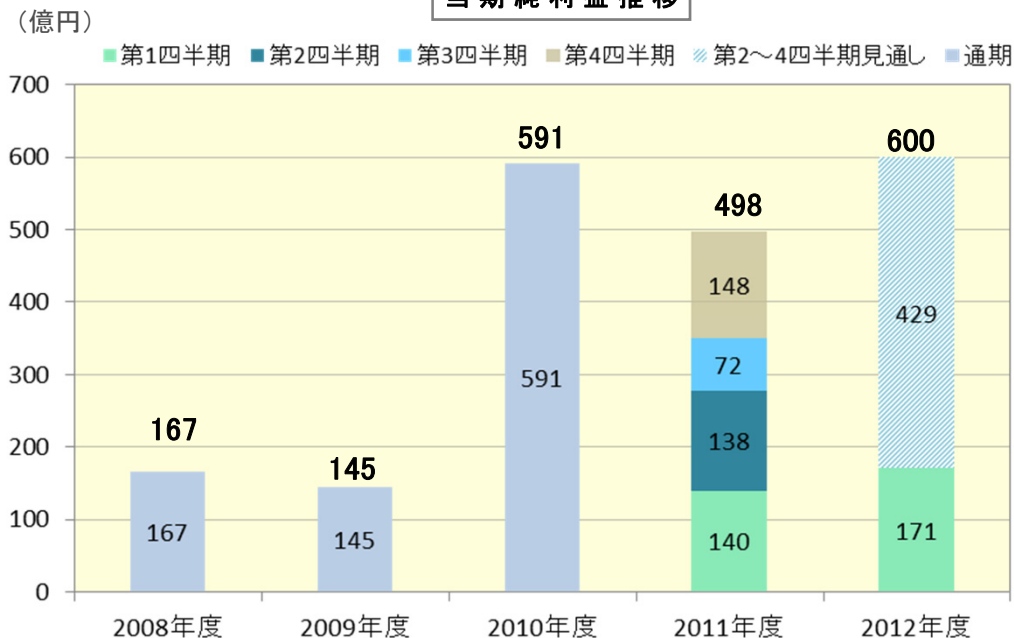
|      |                         |               |
|------|-------------------------|---------------|
| 鉄鋼製品 | ・メタルワン                  | 0 (26→26)     |
| 石炭   | ・MDP                    | ▲438 (450→12) |
| 鉄鉱石  | ・M.C. Inversiones (CMP) | ▲5 (24→19)    |
|      | ・IOC                    | ▲12 (27→15)   |
| 銅    | ・ジェコ/JECO2(エスコンディダ)     | ▲29 (46→17)   |
|      | ・MC Copper(ロスペランブレス)    | 1 (▲1→0)      |
|      | ・アンタミナ(単体)配当収入(税後)      | ▲17 (17→0)    |

### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- ▶ 通期見通し1,850億円に対する第1四半期までの達成率は3%となっている。

## 機械セグメント

当期純利益推移



\* 2012年4月1日付組織改編により、従来の重電機本部及びインフラプロジェクト本部の一部を地球環境・インフラ事業開発部門に移管。2011年度以前の数値については、新組織ベースにリステートしている。

|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 396             | 415             | 1,740           |
| 営業利益    | 133             | 149             | —               |
| 持分法損益   | 58              | 65              | —               |
| 当期純利益   | 140             | 171             | 600             |
| セグメント資産 | 15,625          | 15,992          | —               |

### <2012年度第1四半期の概況>

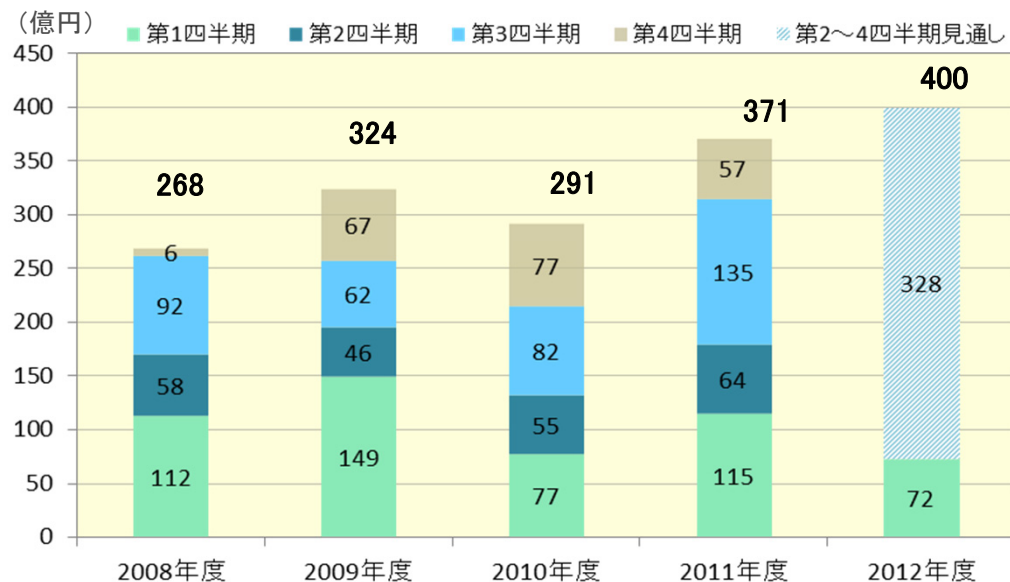
- 当第1四半期の当期純利益は171億円となり、前年同期比+31億円の増益となった。
- これは、アジア自動車関連事業の好調等によるもの。

### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- 通期見通し600億円に対する第1四半期までの達成率は29%となり、総じて順調に推移している。

## 化学品セグメント

### 当期純利益推移



#### <2012年度第1四半期の概況>

- 当第1四半期の当期純利益は72億円となり、前年同期比▲43億円の減益となった。
- これは、前年同期における親会社及び石化事業関連会社での取引好調の反動等によるもの。

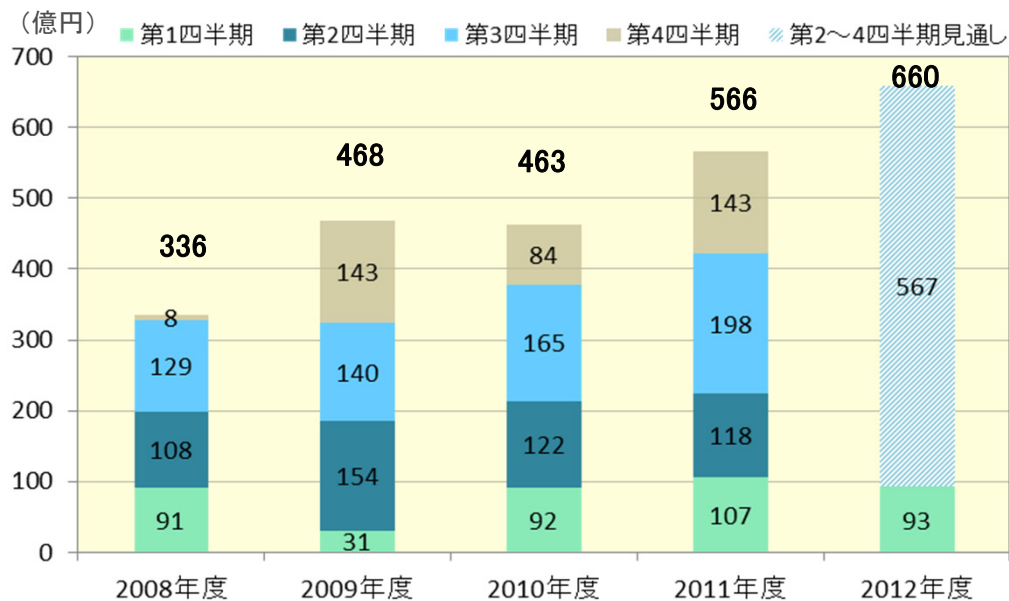
|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 241             | 225             | 1,060           |
| 営業利益    | 101             | 61              | —               |
| 持分法損益   | 54              | 37              | —               |
| 当期純利益   | 115             | 72              | 400             |
| セグメント資産 | 7,154           | 7,744           | —               |

#### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- 通期見通し400億円に対する第1四半期までの達成率は18%となっている。
- これは、市況及び需要の低迷などにより、低い進捗となったもの。

## 生活産業セグメント

### 当期純利益推移



\* 2010年度三菱食品(当時:菱食)決算月変更により、2008～2009年度は通期のみリステート(リステートの影響は便宜上第4四半期(3ヶ月)に含める)、2010年度は各四半期でリステートを行っている。

|         | 2011年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>第1四半期 | 2012年度<br>通期見通し |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上総利益   | 1,107           | 1,068           | 4,850           |
| 営業利益    | 149             | 87              | —               |
| 持分法損益   | 31              | 53              | —               |
| 当期純利益   | 107             | 93              | 660             |
| セグメント資産 | 22,055          | 23,910          | —               |

### <2012年度第1四半期の概況>

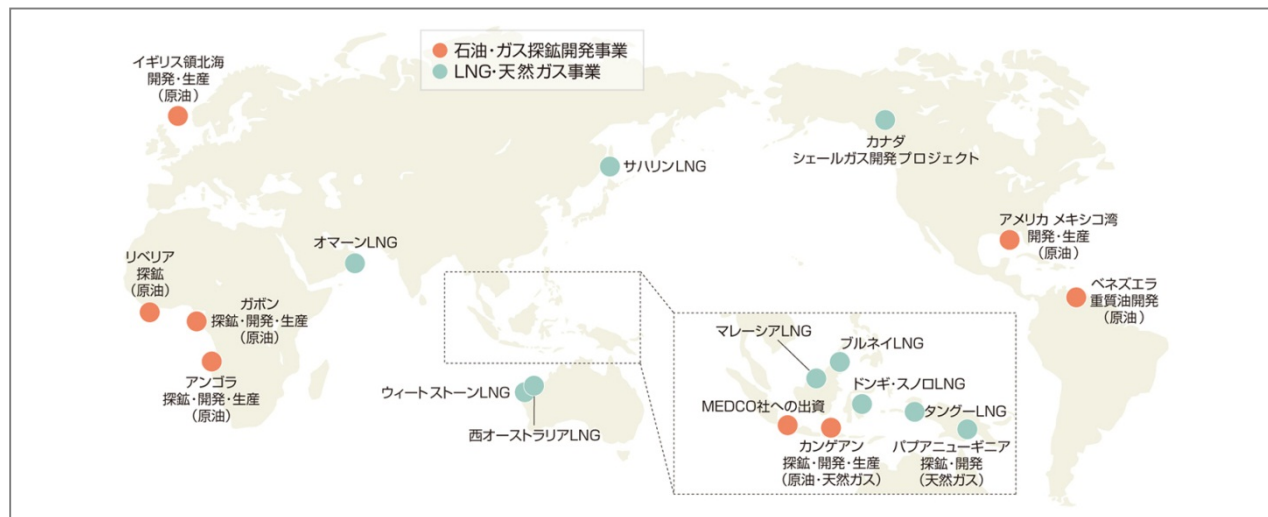
- 当第1四半期の当期純利益は93億円となり、前年同期比▲14億円の減益となった。
- これは、国内の関連会社における震災関連損失の反動等があったものの、食料関連子会社における取引利益減少等があったもの。

### <2012年度通期業績見通しの達成状況>

- 通期見通し660億円に対する第1四半期までの達成率は14%となっている。
- これは、食料関連会社における取引利益減少などがあったが、季節要因などもあり、通期計画(660億円)に変更はない。

# エネルギー資源事業

## エネルギー資源事業の世界展開



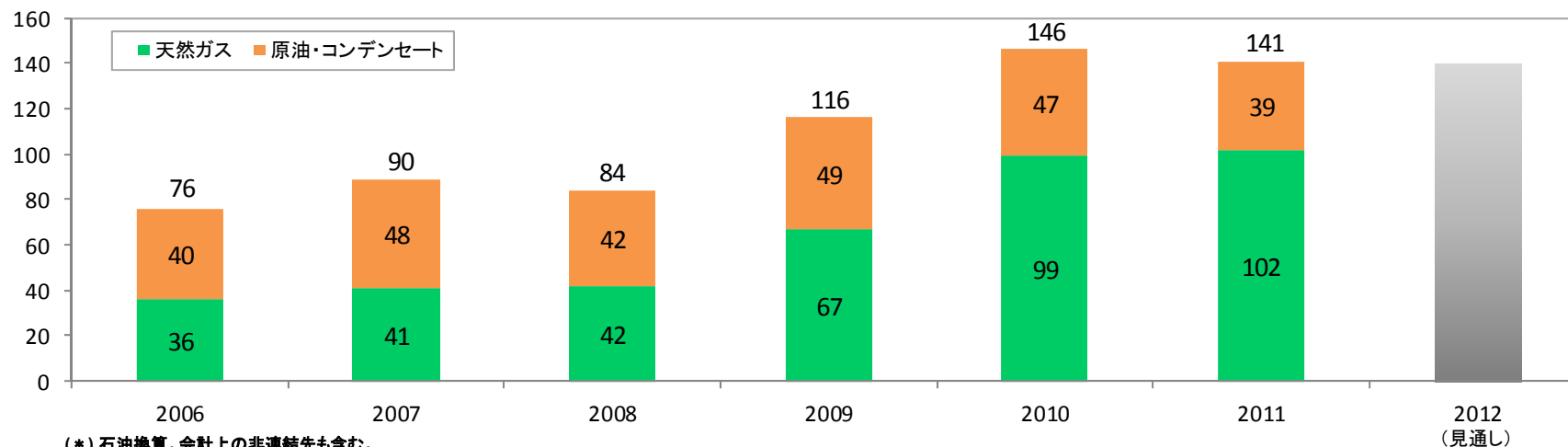
## 当社保有埋蔵量



合計11.3億バレル (\*)(\*\*)  
(2011年12月末時点)

持分生産量  
(千バレル/日)

## 石油・ガス上流持分生産量 (年平均値) (\*)



(\*) 石油換算。会計上の非連結先も含む。

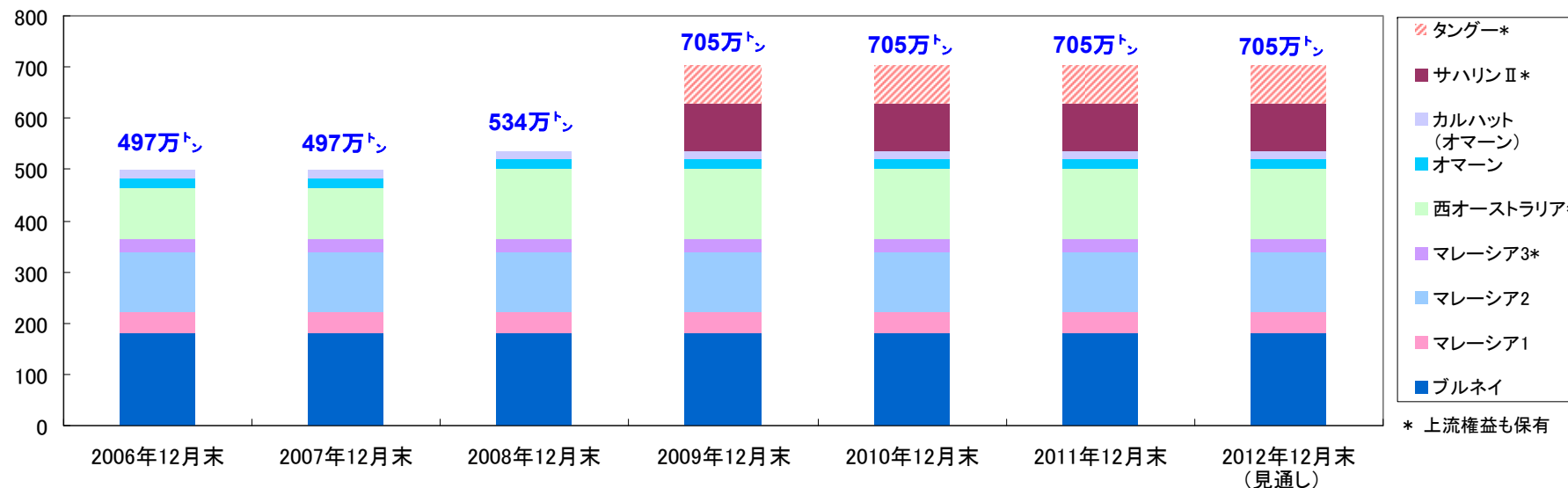
(\*\*) 権益保有見合い。一部当社独自の基準による。



## 天然ガス事業

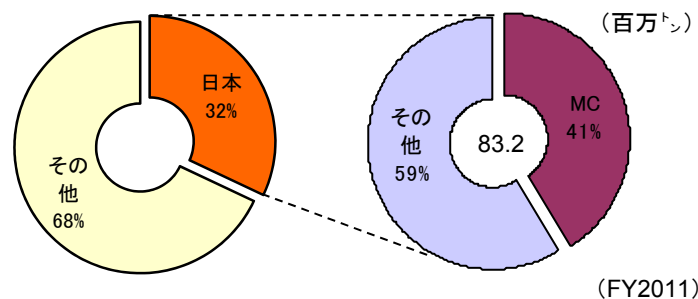
(万トン/年)

### LNG持分生産能力



### 世界のLNG輸入量

### LNGの日本向け総輸入量 及び当社シェア

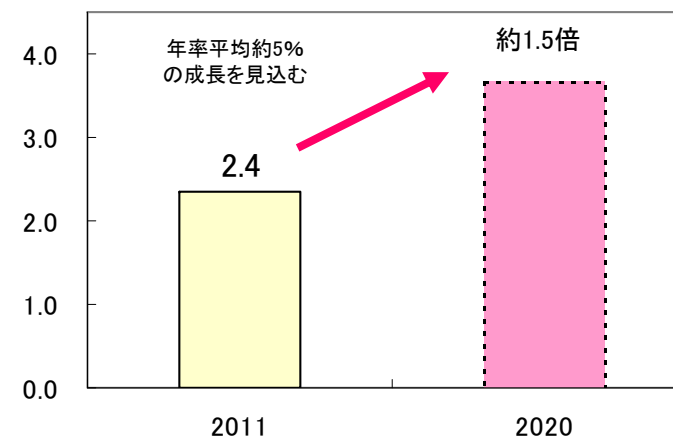


\* 当社シェアに関しては、当社がトレーディングにのみ関与しているものも含む

日本は世界のLNG輸入量の約32%を占める世界最大のLNG輸入国  
当社はその日本の輸入量の約41%を取扱う

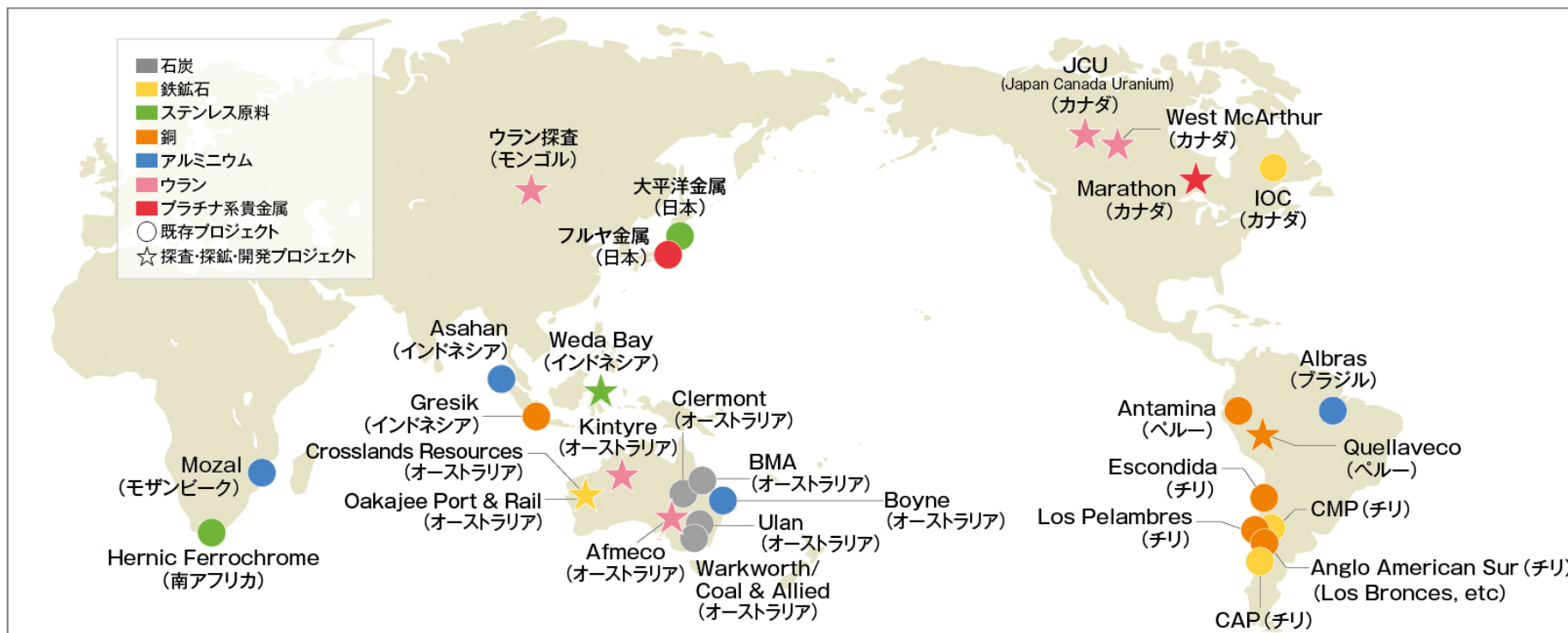
(億トン)

### 世界のLNG需要見通し

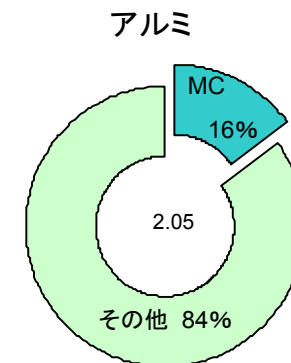
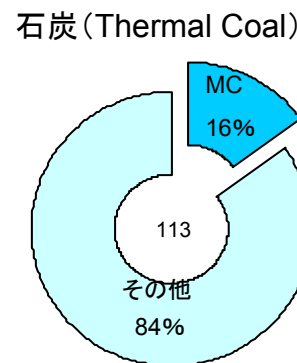
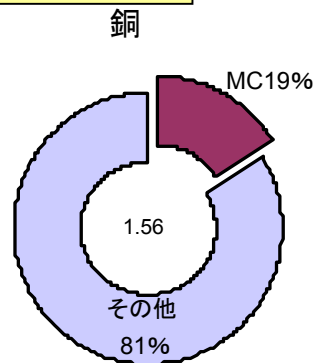
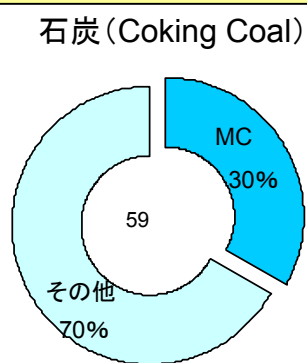
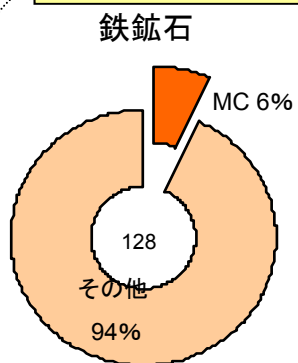


2011年の世界のLNG輸入量実績は2.4億トン  
2020年にはおよそ1.5倍になると予想している(当社予想)

## 金属資源関連事業の世界展開



日本向け総輸入量 (Million ton) 及び当社シェア (CY2011)



\* 当社シェアに関しては、当社がトレーディングにのみ関与しているものも含む

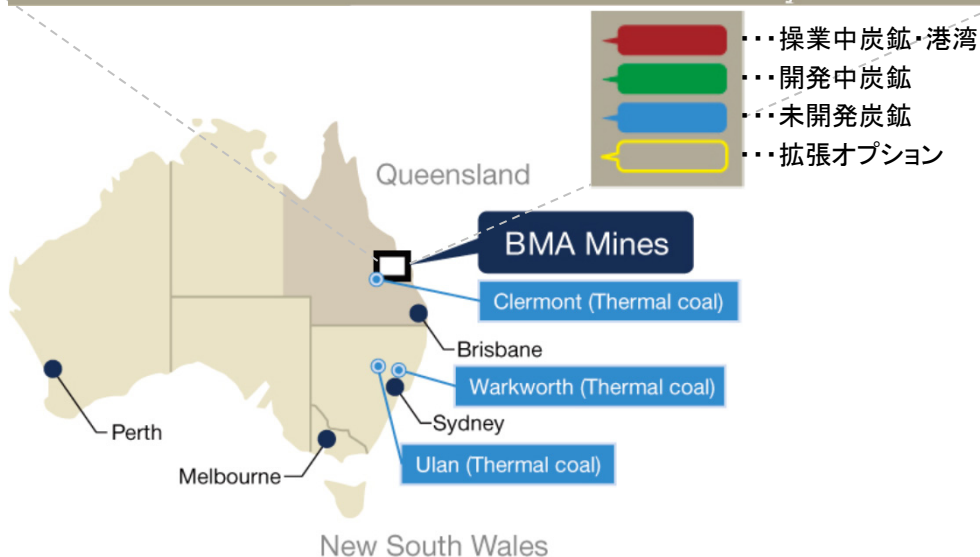
## 金属資源案件一覧

(\*)生産能力はプロジェクト100%です。

| 商品           | プロジェクト                             | 所在国    | 年間生産能力(*)                  | 主なパートナー                       | 当社持分     | 備考  |
|--------------|------------------------------------|--------|----------------------------|-------------------------------|----------|---|
| 石炭           | BMA                                | 豪州     | 原料炭他 58mt                  | BHP Billiton                  | 50.00%   | 詳細は19~20 ページご参照   |
|              | Warkworth                          | 豪州     | 一般炭他6mt(**)                | Coal & Allied                 | 28.90%   |   |
|              | Coal&Allied                        | 豪州     | 一般炭他20mt(**)               | Rio Tinto                     | 20.00%   | 2011年12月、Rio Tintoとの共同買収が完了。当社持分は20%へ上昇   |
|              | Clermont                           | 豪州     | 一般炭12.2mt(フル生産時)           | Rio Tinto、J-Power             | 31.40%   | 2010年4月生産開始、2013年フル生産予定   |
|              | Ulan                               | 豪州     | 一般炭7.2mt                   | Xstrata                       | 10.00%   | 現在、拡張工事を実行中(2014年生産開始予定)  |
| 鉄鉱石          | Jack Hills/<br>Oakajee Port & Rail | 豪州     |                            |                               | 100%     | ・事業化調査、並びにパートナー招聘プロセスを推進中。  |
|              | IOC                                | カナダ    | ペレット13mt<br>Concentrate4mt | Rio Tinto                     | 26.18%   | 拡張計画 第一段階: 18→22Mtpa(2012年中完工予定)<br>第二段階: 22→23.3Mtpa(2012年末完工予定)               |
|              | CMP                                | チリ     | ペレット/ペレットフィード他<br>12mt     | CAP                           | 25.00%   | 拡張プロジェクト(12→18Mtpa)<br>Los Colorados鉱山拡張及びCerro Negro Norte鉱山開発中<br>2013年生産開始予定 |
| アルミニウム       | Mozal(製錬)                          | モザンビーク | アルミ地金560kt                 | BHP Billiton                  | 25.00%   |   |
|              | Boyne Smelters<br>(製錬)             | 豪州     | アルミ地金560kt                 | Rio Tinto                     | 9.50%    | (第1、第2系列)   |
|              |                                    |        |                            |                               | 14.25%   | (第3系列)  |
|              | Asahan(製錬)                         | インドネシア | アルミ地金225kt                 | インドネシア政府                      | 1.475%   |   |
|              | Albras(製錬)                         | ブラジル   | アルミ地金450kt                 | Hydro                         | 2.70%    |   |
| 銅            | Escondida                          | チリ     | 銅 1,200kt超                 | BHP Billiton、Rio Tinto        | 8.25%    | ・選鉱場及び堆積設備の拡張工事中。<br>・拡張を経て、2015年度は130万トン超の銅生産量となる見込。                           |
|              | Los Pelambres                      | チリ     | 銅 410kt                    | Luksic Group(AMSA)            | 5.00%    | 2010年、生産能力30%増の拡張完工   |
|              | Anglo American Sur                 | チリ     | 銅500kt                     | Anglo American                | 24.50%   | 2011年11月にアングロより権益取得、同月 Los Bronces 鉱山の生産能力拡張完工                                  |
|              | Antamina                           | ペルー    | 銅 370kt<br>亜鉛400kt         | BHP Billiton、Xstrata、<br>Teck | 10.00%   | ・生産能力40%増へ向けての拡張工事中<br>・2012年3月末に主要設備の建設完了済。                                    |
|              | Quellaveco                         | ペルー    | (銅 225kt)                  | Anglo American                | 18.10%   | 2012年2月、IFCより権益取得   |
|              | Gresik(製錬)                         | インドネシア | 銅 300kt                    | Freeport Indonesia<br>三菱マテリアル | 9.50%    |   |
| ステンレス<br>原料  | 大平洋金属(製錬)                          | 日本     | フェロニッケル 40kt               | 新日鐵、日新製鋼                      | 8.15%    |   |
|              | Hernic                             | 南ア     | フェロクロム 420kt               | IDC、ELG、IFC                   | 50.975%  |   |
|              | Weda Bay                           | インドネシア | (ニッケル中間製品 65kt)            | Eramet、PT Antam               | 27.00%   | ・2013年度内の最終意思決定を目指して事業化調査を推進中   |
| ウラン          | Kintyre                            | 豪州     |                            | Cameco                        | 30.00%   | 予備事業化調査中  |
|              | AREVA Mongol                       | モンゴル   |                            | Areva                         | (34.00%) | ・事業化に向けた調査中<br>・AREVA Mongol社の34%株式を取得するオプションを行使                                |
|              | AFMECO                             | 豪州     |                            | Areva                         | (49.00%) | 探査中(MDPIによる探査費用負担額が一定金額に達したところで49%権益を取得するオプションを獲得)                              |
|              | JCU                                | カナダ    |                            | 伊藤忠商事<br>海外ウラン資源開発            | 33.33%   | ・14プロジェクトの権益を保有<br>・探査～事業化調査中   |
| プラチナ系<br>貴金属 | フルヤ金属<br>(貴金属加工業)                  | 日本     | 各種貴金属製品                    | 田中貴金属、Lonmin                  | 20.08%   |   |
|              | Marathon                           | カナダ    | PGM精鉱200koz<br>(銅17kt含む)   | Stillwater                    | 25.00%   | 事業化調査を推進中(2016年の生産開始予定)   |

(\*\*) Warkworth及びCoal&Alliedの年間生産能力については未公表であるため、2011年の生産量(暦年ベース)を記載

## MDP(石炭)事業の概要

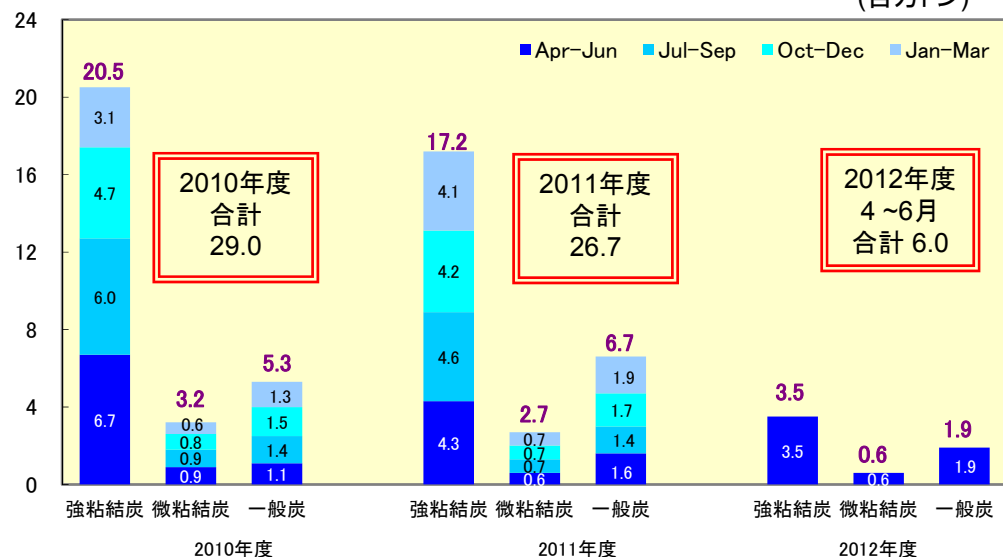


BMA炭鉱一覧(含:拡張オプション)

|  |
|--|
| <b>Goonyella Riverside炭鉱</b><br>露天掘 強粘結炭     |
| <b>Broadmeadow炭鉱</b><br>坑内掘 強粘結炭             |
| <b>Daunia炭鉱</b><br>露天掘 準強粘結炭/吹込み用微粉炭         |
| <b>Caval Ridge炭鉱</b><br>露天掘 強粘結炭             |
| <b>Peak Downs炭鉱</b><br>露天掘 強粘結炭              |
| <b>Saraji炭鉱</b><br>露天掘 強粘結炭                  |
| <b>Saraji East炭鉱</b><br>坑内掘 強粘結炭             |
| <b>Norwich Park炭鉱(一時的操業停止中)</b><br>露天掘 強粘結炭  |
| <b>Gregory Crinum炭鉱</b><br>露天掘・坑内掘 強粘結炭      |
| <b>Blackwater炭鉱</b><br>露天掘・坑内掘 強粘結炭/微粘結炭/一般炭 |

## 石炭事業(販売・生産・価格・為替)

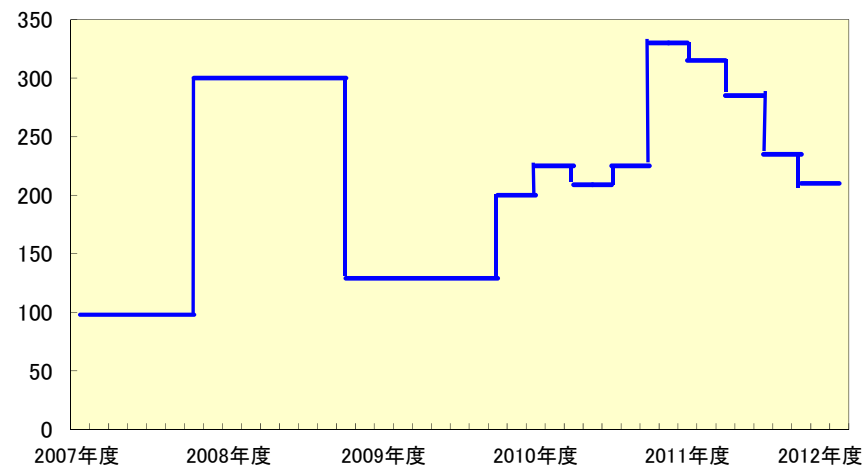
MDP 年間販売量の推移 \* BMA以外の一般炭持分販売量も含む (百万トン)



\* Coal & Alliedの生産量については、持分連結したことに伴い2010年度以降、期ずれを反映してリステート済み。

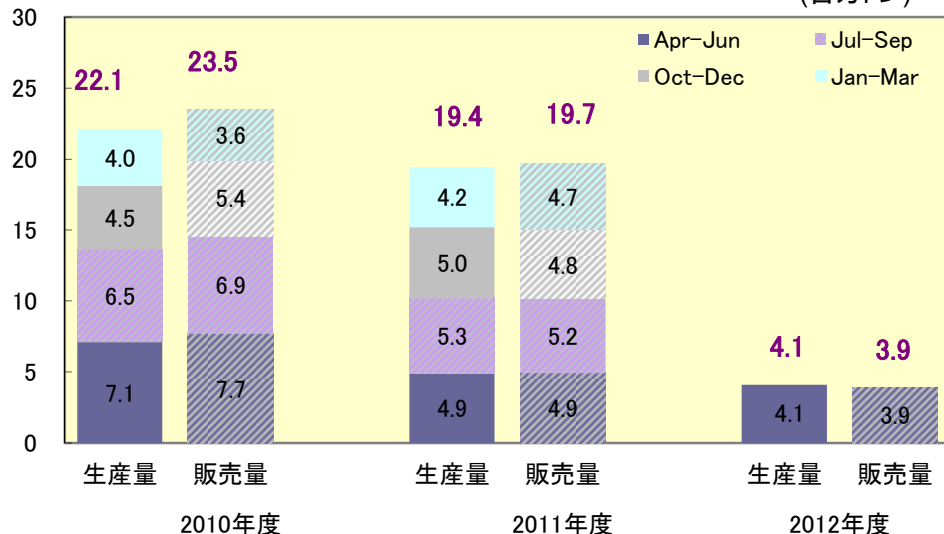
➤BMAの第1四半期生産量は、第4四半期と比較し、主に断続的な時限ストライキの影響で減少した。

日本向け豪州一級強粘結炭指標価格推移 (US\$/トン)



出典: ・The Australian Bureau of Agricultural and Resource Economics-Bureau of Rural Sciences (ABARE-BRS) "Australian commodities"  
・Wood Mackenzie Press Release  
・その他各種報道

BMA 年間生産量・販売量(50%ベース)推移 (百万トン)



米ドル/豪ドル 期中平均レート推移

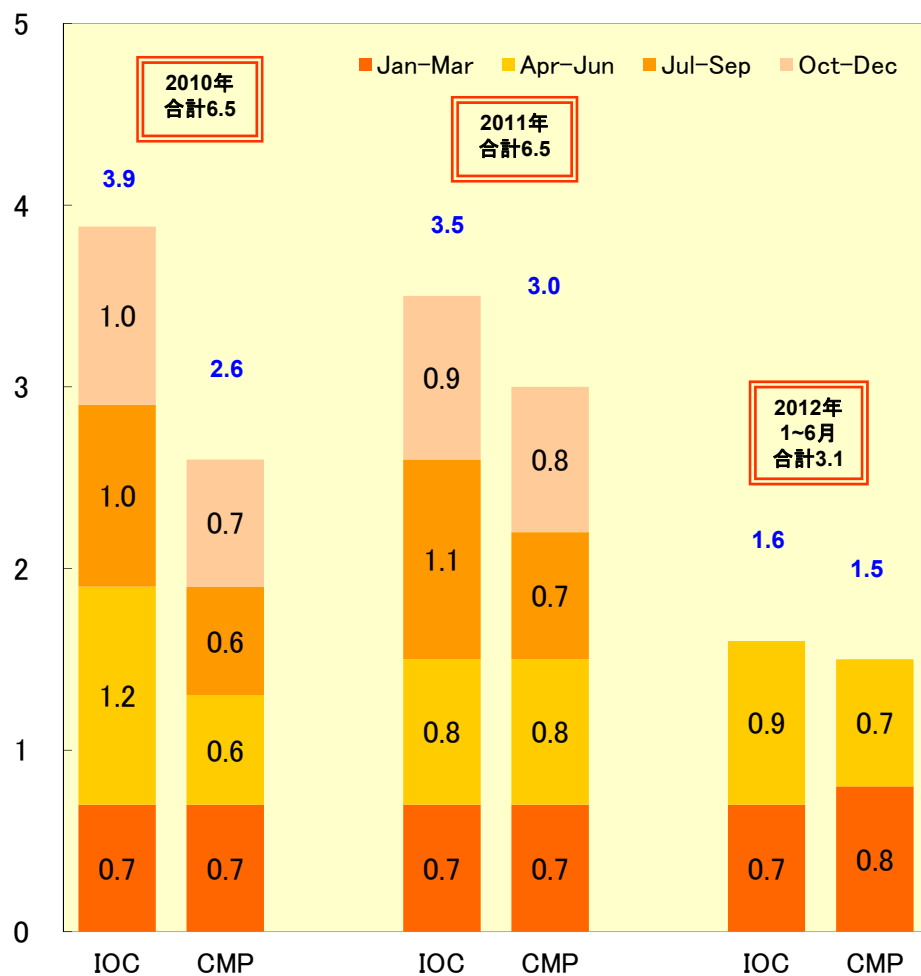
|      | 1Q            | 2Q            | 3Q            | 4Q            |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 09年度 | U\$0.7599/A\$ | U\$0.8339/A\$ | U\$0.9091/A\$ | U\$0.9044/A\$ |
| 10年度 | U\$0.8834/A\$ | U\$0.9047/A\$ | U\$0.9889/A\$ | U\$1.0058/A\$ |
| 11年度 | U\$1.0629/A\$ | U\$1.0497/A\$ | U\$1.0122/A\$ | U\$1.0560/A\$ |
| 12年度 | U\$1.0063/A\$ | -             | -             | -             |

出典: Bloomberg

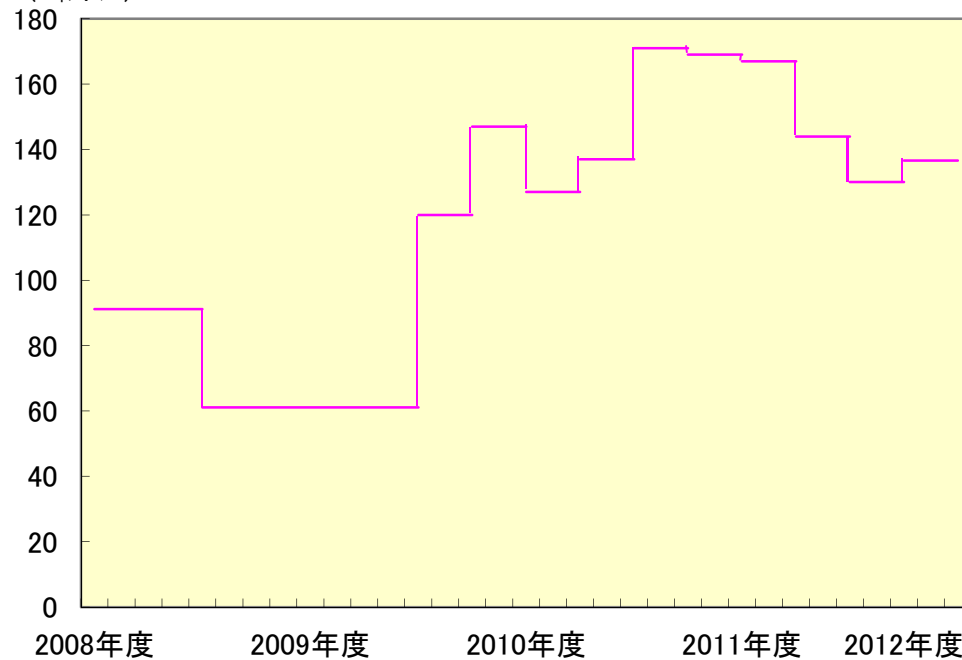
\*上記為替レートはMDPの実効レートとは異なる **20**

## 鉄鉱石事業

持分生産量  
(百万トン)



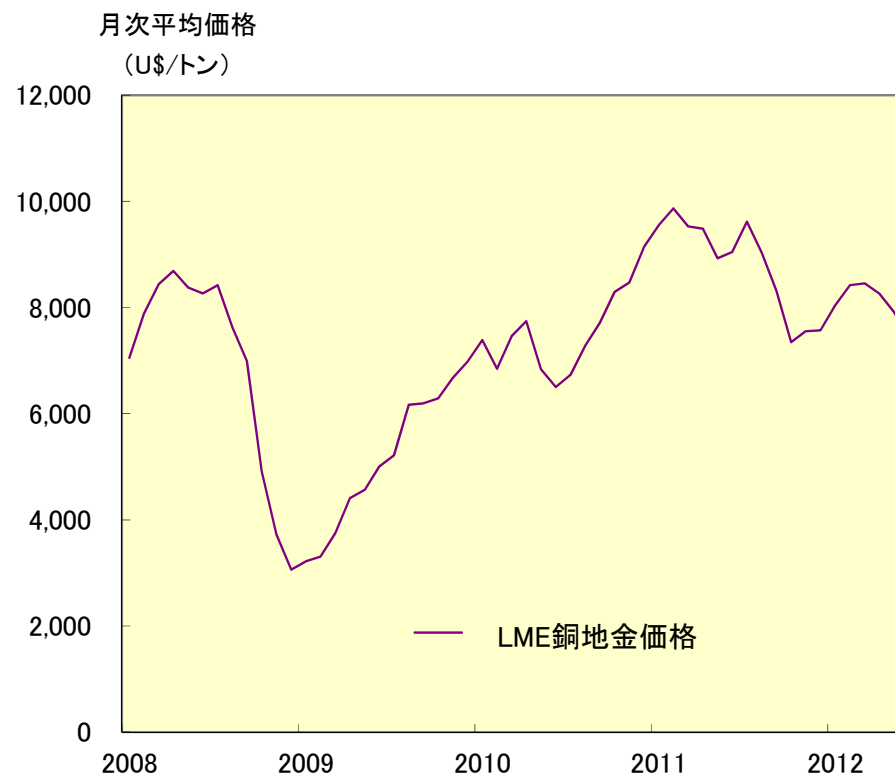
年次/四半期  
価格  
(U\$/トン)



— 日本向け豪州鉄鉱石(粉鉱)価格

\* 持分生産量グラフに於ける年度=1月~12月

## 銅事業



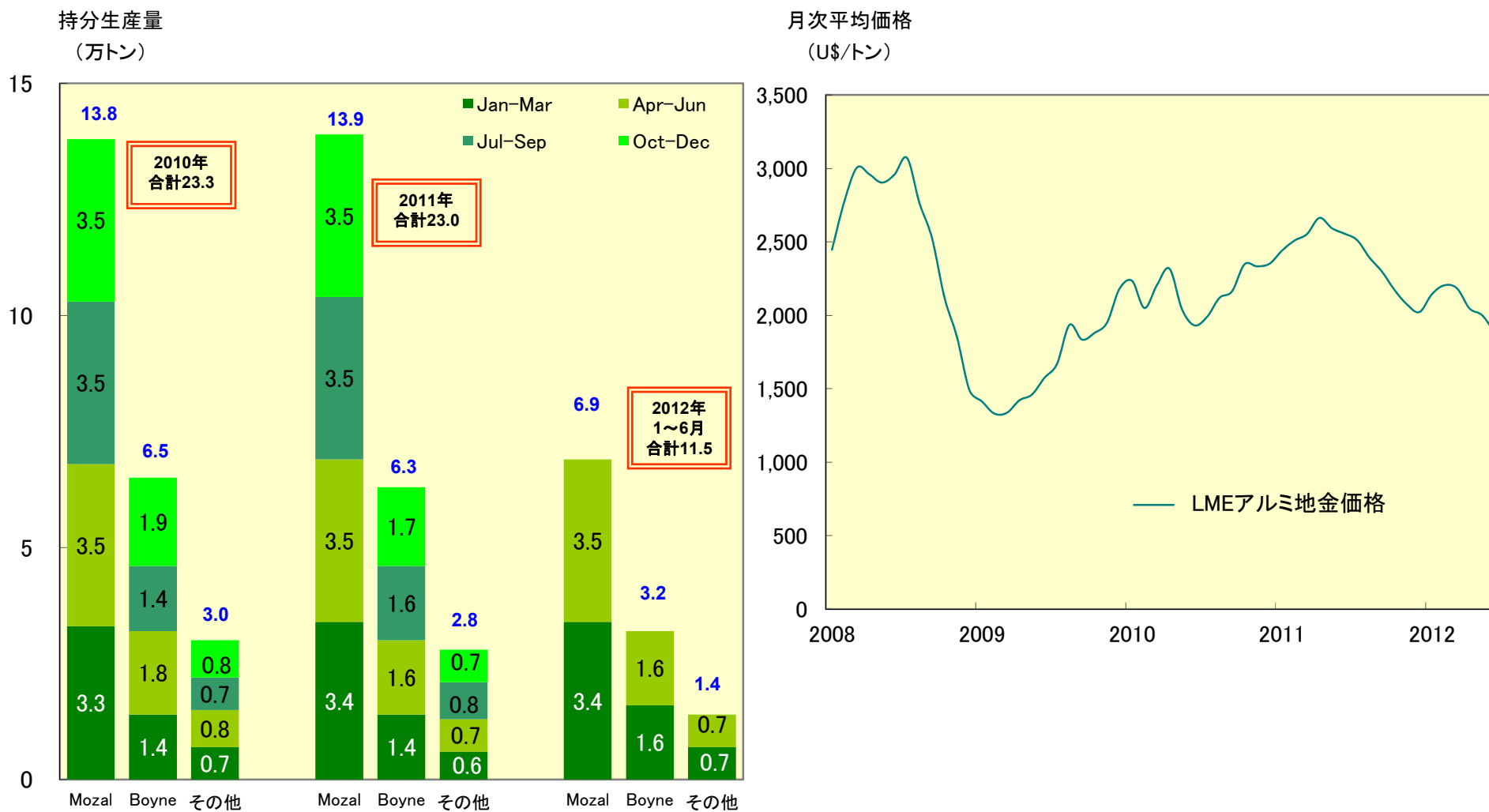
・Escondida銅鉱山は含有銅分にして年間100万トン以上生産する世界最大の銅鉱山です。

・採掘可能資源量

|                  |       |
|------------------|-------|
| Escondida銅鉱山     | 50年以上 |
| Los Pelambres銅鉱山 | 50年以上 |
| Antamina銅鉱山      | 20年以上 |
| Los Bronces銅鉱山   | 30年以上 |
| El Soldado銅鉱山    | 25年   |

\* 持分生産量グラフに於ける年度=1月~12月

## アルミ事業

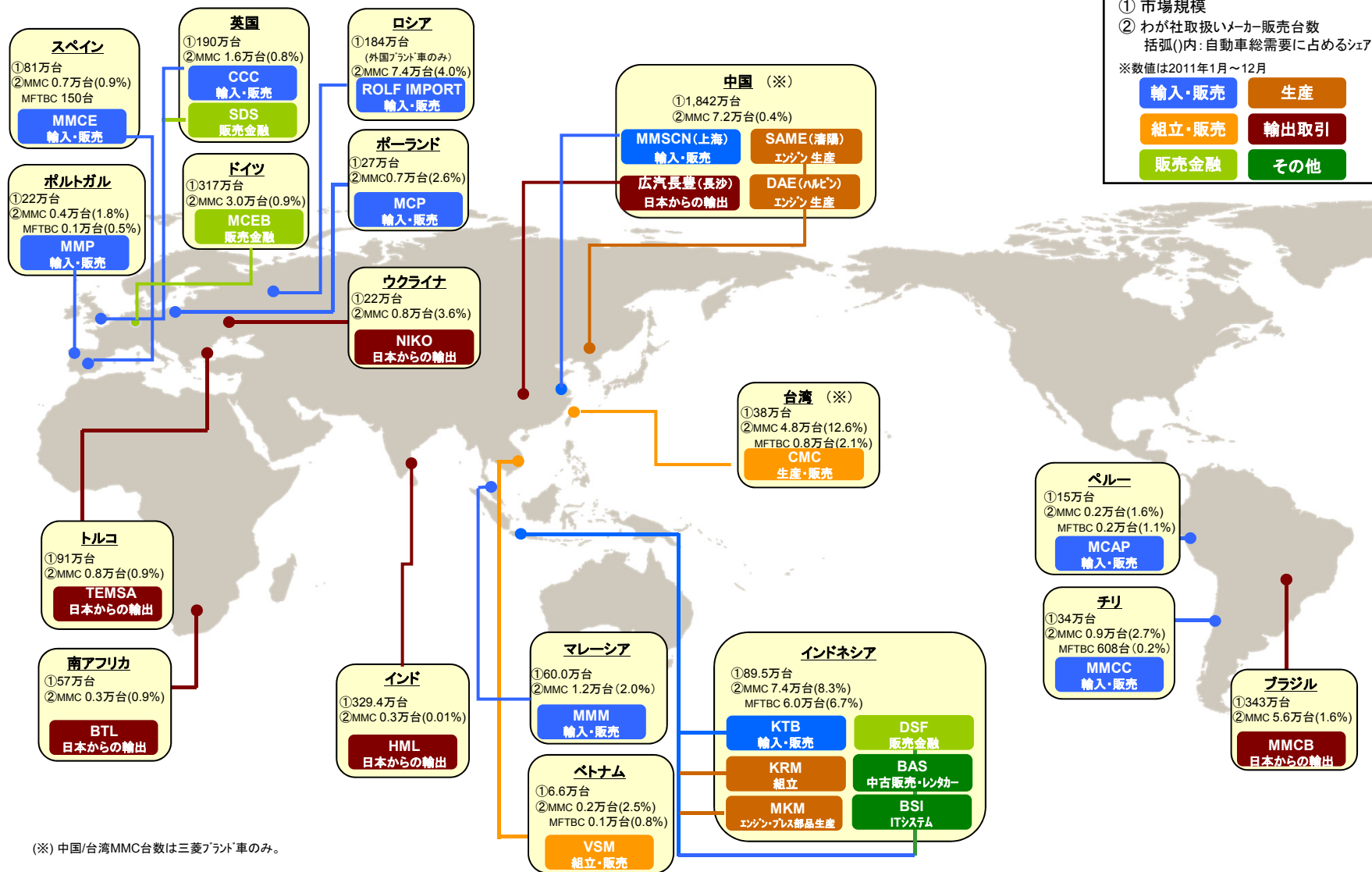


\* 持分生産量グラフに於ける年度=1月~12月



# 自動車関連ビジネスの世界展開(三菱自動車関連)

2012年6月時点



## 三菱自動車

(三菱自動車2012年度第1四半期決算説明会資料より)

### 三菱自動車工業2012年度 第1四半期決算サマリー

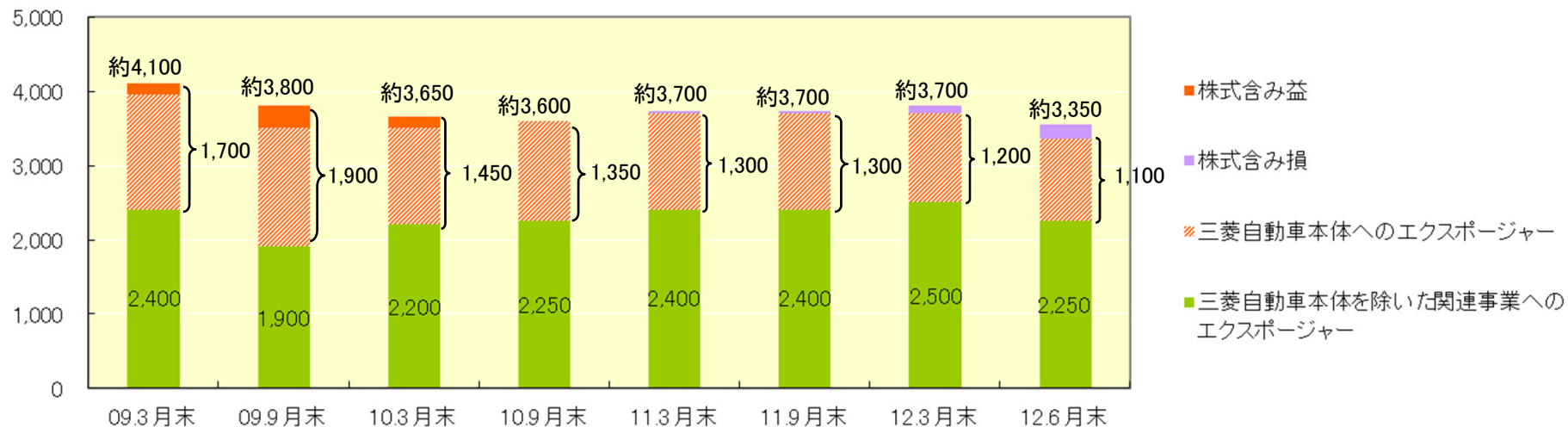
(単位: 億円、千台)

|          | 2011年度<br>第1四半期① | 2012年度<br>第1四半期② | 差<br>②-① | 2012年度計画<br>(2012年7月30日<br>公表値) |
|----------|------------------|------------------|----------|---------------------------------|
| 売上高      | 4,319            | 4,193            | -126     | 19,800                          |
| 営業利益     | 122              | 149              | +27      | 800                             |
| 経常利益     | 103              | 142              | +39      | 620                             |
| 当期利益     | 43               | 200              | +157     | 130                             |
| 販売台数(小売) | 267              | 239              | -28      | 1,090                           |

注) 販売台数はOEM供給台数を含まない。

### 当社リスクエクスポージャー

(億円)



## 自動車関連ビジネスの世界展開 (いすゞ関連)

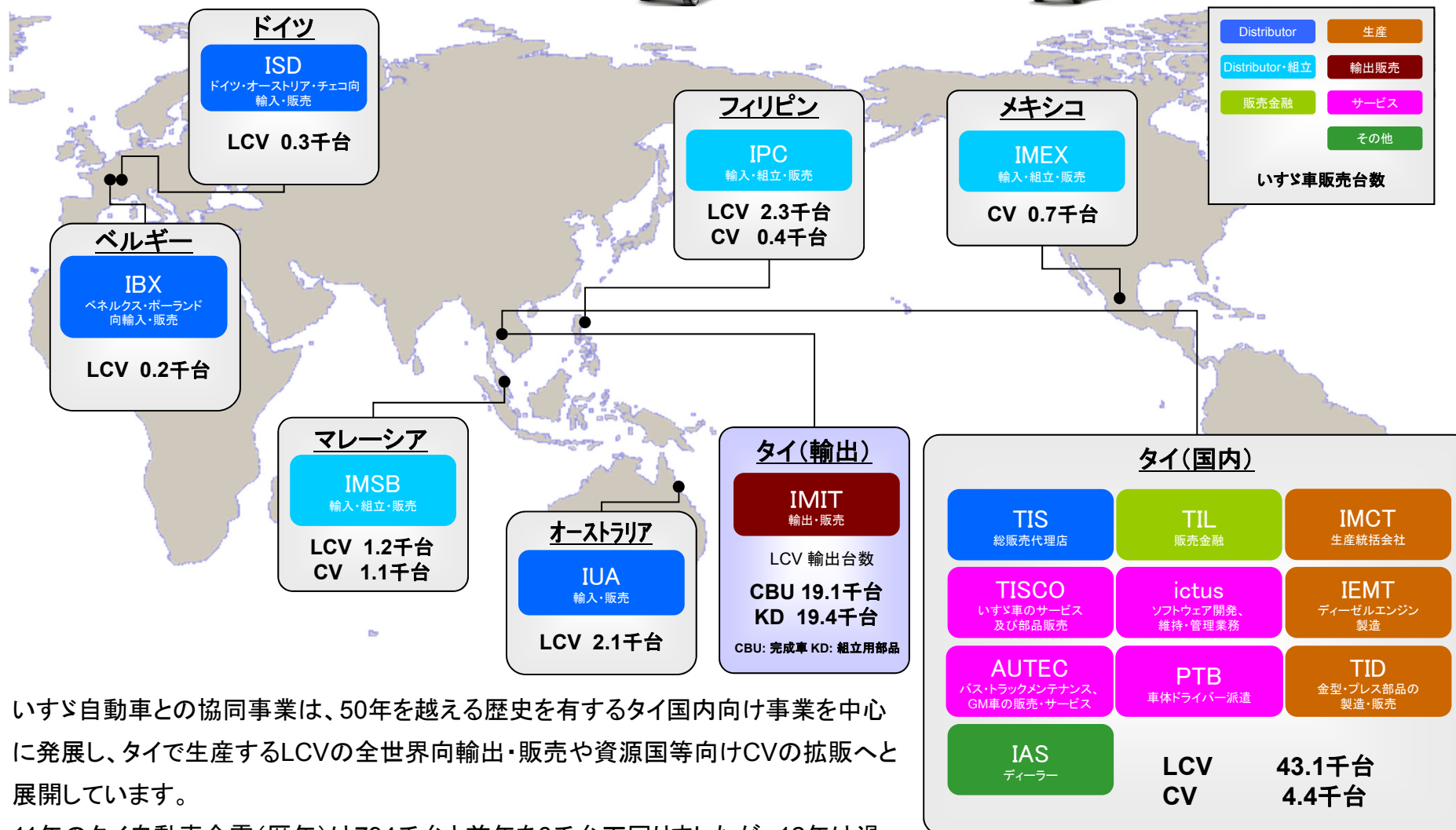
LCV: Light Commercial vehicle(小型商用車)



CV: Commercial vehicle(商用車)



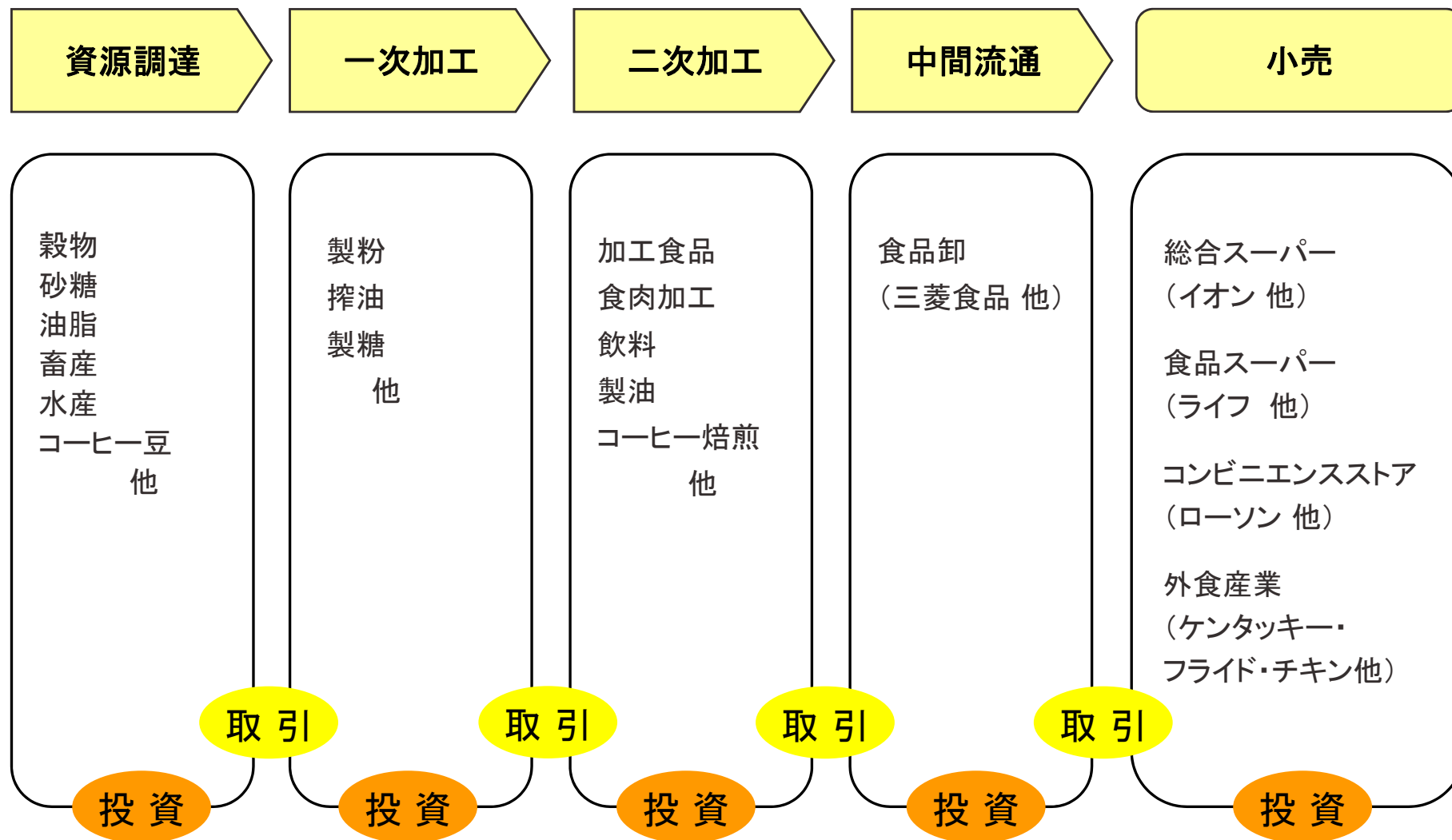
### 12年度1Q実績



いすゞ自動車との協同事業は、50年を超える歴史を有するタイ国内向け事業を中心に発展し、タイで生産するLCVの全世界向輸出・販売や資源国等向けCVの拡販へと展開しています。

11年のタイ自動車全需(暦年)は794千台と前年を6千台下回りましたが、12年は過去最高の125万台となる見通しです。

## 食料関連事業の事業領域



## 地球環境・インフラ事業開発部門 主な取り組み

1

スペイン

太陽熱発電事業

世界最大級の20万kW  
(4つのプロジェクト)の太陽熱  
発電設備を運営



2

タイ

太陽光発電事業

世界最大級となる  
73kWの太陽光発電所を  
タイのロップリ県に建設中



3

米国

ゴーシェン風力発電事業

米国 アイダホ州にて  
130MW 風力発電を運転中



4

欧州

送電線事業

世界最大級 120万kWの  
洋上風力用送電線を  
北海に建設中



5

ドバイ

鉄道事業

2011年9月に全区間完成  
ギネス認定された世界最長  
76kmの全自動無人運転  
鉄道



6

排出権事業

排出権デベロッパーとして  
世界第三位の実績。507台の  
電気自動車 (i-MiEV) を  
エストニア政府にグリーン投資  
スキームで導入



7

リチウムエナジー ジャパン

電気自動車やプラグイン  
Hybrid車用のリチウムイオン  
電池を製造



8

水ing

三菱商事・荏原製作所 等  
による水事業会社を設立。  
世界に水事業を展開



9

豪州水事業

オーストラリア第二位の  
水事業者である、ユナイテッド  
ユーティリティ・オーストラリア社  
(現 トリリティ社)を買収



10

省エネルギー

2000年、東京電力・関電工  
・アズビルと共に、日本ファシ  
リティソリューション設立。  
大規模建物を中心に省エネ  
サービスを提供

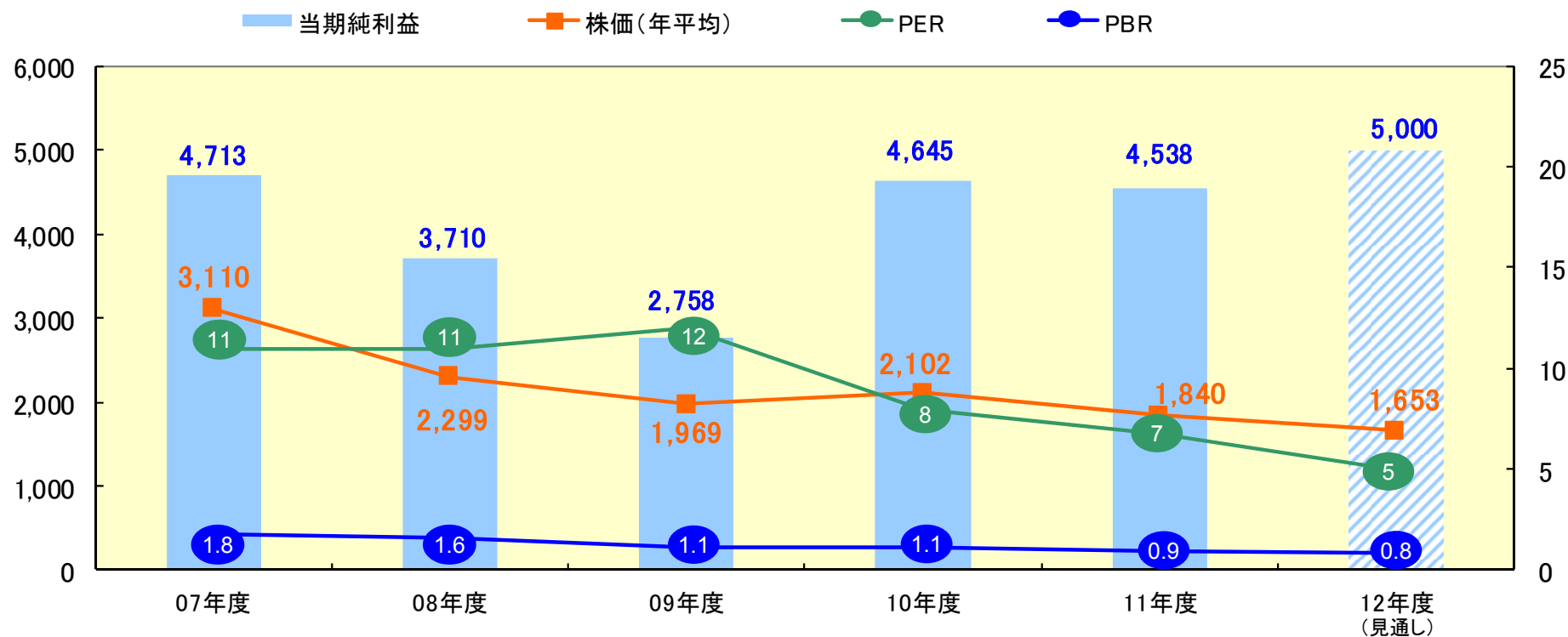


## 利益と株価の推移

(当期純利益: 億円)

(株価: 円)

(PER、PBR: 倍)



**PER** 株価収益率・・・一株あたりの株価と収益の関係  
**PBR** 株価純資産倍率・・・一株あたりの株価と純資産の関係

(注)上記PER及びPBRは、年度平均株価に期末発行済株式総数を乗じた時価総額から算出したもの

(12年度見通しは、第1四半期の株価平均及び期末発行済株式総数に基づくもの)